

【意味】 ～を無視して、～を気にしないで、～を他に置いておいて、～を自分には無関係なものとして

「よそ(余所)」の元の意味

- ほかの所。別の場所。「よそから来た人」「車の運転をするときはよそ見をしてはいけない」「どこかよその店に行きましょう」
- 自分の家以外の所。また、自分の所属している団体以外の所。「よその会社」「よその人」
- 自分には直接関係のないこと。関心のないこと。

例文と練習

- 娘は親の心配をよそに、一人でヨーロッパを巡る旅に出た。
- 息子は私たちの期待をよそに、学校にも行かず家でゴロゴロしている。
- 真面目に働く同僚たちをよそに彼はくだらない新企画ばかりを作っている。
- 野党の大反対をよそに、与党は採決に踏み切った。
「踏み切る」思い切って・心を決めて～する。
- 周囲の心配をよそに、彼は仕事もせずに毎日のように遊び歩いている。



- 住民の強い反対をよそに、大規模な工場が建設された。
- 2 をよそに、父はお酒もタバコも控えようとする気配がない。
1 家族の将来 2 家族の心配 3 自分の健康 4 自分の将来
- 4 3 2 1 をよそに、スパゲティをお蕎麦そばのようにズルズルともものすごい音を立てて食べている人がいた。
1 視線 2 冷たい 3 人々の 4 周囲の

所属 しょぞく、 巡る めぐる、 真面目 まじめ、 野党 やとう、 与党 よとう
採決 さいけつ、 踏み切る ふみきる、 周囲 しゅうい、 控える ひかえる、 気配 けはい